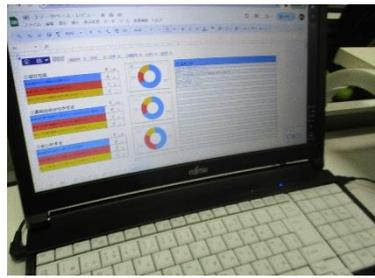




生徒が作った chatbot を公開



閲覧者から評価をもらいます



自らプログラミングを進めることもたち



授業中は、先生や友だちに自由に質問する姿が見られます



ながの SDGS プロジェクトの取材

技術で3年生がプログラミングの学習をしています。地球環境やエネルギーに関することをテーマにしてチャットボットを制作して、WED 上に公開しています。授業では、閲覧した人たちから得た評価やコメントを見て、「もっと画像を入れた方がいいな」と、さらにどんなユーザーでも使いやすくするにはどうすればいいか工夫を重ねる子どもたちの姿がありました。生活に密着した題材を通して学ぶことや学びの成果を発信することが、子どもたちの学びのモチベーションを高めているなど感じる授業でした。

この日は、「ながの SDGs プロジェクト」の方々が授業の様子を取材に来ていました。「子どもたちがパソコンを使って自分の力で制作を進めていることに驚いた」「友だち同士で話をしながら学習できることはとてもいいと思う」と、子どもたちが主体的に学ぶ姿に感心していました。

なお、この授業の様子は、「ながの SDGs プロジェクト」ホームページと信濃毎日新聞で紹介されるということです。



授業後、先生が、チャットボットに使用している画像が著作権に振れる可能性があるとして関係の生徒に説明をしていました。ICTを活用した授業は、子どもたちに情報モラルについて自分事として考える機会にもなるのだと学びました。